

## 2008 年度 WG 活動成果報告

(2009 年 2 月 25 日作成)

WG 名	出版 WG	主 査 名：林 康裕 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	災害委員会	委員長名：林 静雄
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2009 年 12 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	設置目的：平成 17 年度～19 年度に市民講座 WG が企画・開催した震災対策技術展（横浜会場）における講演会と各支部が開催したワークショップ等の内容をまとめ、一般市民向けの啓発本を出版。 ・ 出版社の選定と関係者打ち合わせ ・ 講演会録音テープの文字化とレイアウト原稿化 ・ 資料収集	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査： 林 康裕 (京都大学) 幹事： 難波 尚 (神戸大学) 牧 紀夫 (京都大学) 渡辺 千明 (秋田県立大学)	
2008 年度予算	0 円	ホームページ公開の有無：なし (但し情報は随時インターネット WG 等の HP に掲載) 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	1 (メール審議は随時) 回
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. (書名) なし
講習会	1. (名称) なし <span style="float: right;">参加者数 名</span>
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	なし
大会研究集会	1. (名称) なし <span style="float: right;">参加者数 名</span> (資料名)
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 特になし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 出版社 (章国社) との打ち合わせを行い、出版に関する条件を確認した。 ・ 講演会録音テープの文字化と表紙デザインも含めたレイアウト原稿化必要 ・ 大学生協等 PR・売り先の選定協力必要 ・ 上記条件をクリアした上で、社内で検討 2. 委員会を京都大学にて開催することができた。 ・ レイアウト及び役割分担の決定 ・ 講演会録音テープの文字化及びレイアウト化 (一次原稿：作業中)
委員会活動の問題点・課題	出版先の確保及び、出版に要する費用の目途がたっていない

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。